



各位

会社名 株式会社クオンタムソリューションズ
代表者名 代表取締役社長 邵 贇
(コード番号 2338 東証第二部)
問合せ先 取締役管理部長 村山 雅経
TEL 03-6910-0571 (代表)

第8回新株予約権の資金使途変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、2019年9月17日付「第7回新株予約権及び第8回新株予約権の資金使途の変更に関するお知らせ」にて開示いたしました第8回新株予約権の調達する資金の具体的な使途及び支出時期の変更について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 資金使途変更の理由

当社は、2019年9月17日付「第7回新株予約権及び第8回新株予約権の資金使途の変更に関するお知らせ」にて、フィンテック事業への運転資金の一部を当社運転資金に充当し、変更することを開示いたしました。

その後、当社は、2020年7月10日付「フィンテック事業の廃止に関するお知らせ」で開示したとおり、当社グループは、フィンテック事業を廃止することを決定し、その約1年後の2021年7月12日に「新たな事業の開始及び株式会社 FOMM との資本・業務提携に関するお知らせ」で開示したとおり、電気自動車（以下「EV」という。）の国内メーカーである株式会社 FOMM（以下「FOMM」という。）と提携を行い、EV事業を開始する旨、お知らせいたしました。

そのような一連の流れのなかで、本日付「株式会社 FOMM との電気自動車の販売・製造にかかる基本合意書締結に関するお知らせ」で開示したとおり、当社グループは、FOMM が開発する電気自動車等の製造及び販売に関して当社グループが、中華人民共和国（香港・マカオ・台湾を含む）、マレーシア、シンガポール、インドネシア、中南米地域での独占的な権利を取得するための基本合意書を締結いたしました。

この度の資金使途の変更は、フィンテック事業への運転資金から、資金使途を変更し、当該権利取得のための対価として当社子会社である Quantum FOMM Limited（以下「QF」という。）を通じて FOMM に対して支払う権利料へ充当するためのものです。また、当社グループはフィンテック事業から撤退しているため、権利料に充当した残余は、当社の運転資金として充当することといたします。

2. 調達した資金の充当状況

変更箇所には下線を付しております。

1) 調達した資金の具体的な使途 (変更前)

手取金の使途	金額(千円)	充当済金額 (千円)	充当予定時期
i 当社子会社 (FASTEPS SINGAPORE PTE. LTD.) への貸付金 (当社子会社における資金使途)	<u>289,853</u>		
①新規顧客への認知度向上に向けたマーケティング コスト	上記内訳 ① 89,853	① -	<u>2018年11月～ 2021年10月</u>
②システム費用や人件費といった運転資金	② <u>200,000</u>	② 94,653	
ii 当社運転資金	392,331	330,000	2018年12月～ 2021年10月

2) 調達した資金の具体的な使途 (変更後)

手取金の使途	金額(千円)	充当済金額 (千円)	充当予定時期
i 当社子会社 (FASTEPS SINGAPORE PTE. LTD.) への貸付金 (当社子会社における資金使途)	<u>94,653</u>		
①新規顧客への認知度向上に向けたマーケティング コスト	上記内訳 ① -	① -	<u>2018年11月～ 2019年9月</u>
②システム費用や人件費といった運転資金	② <u>94,653</u>	② 94,653	
ii 当社運転資金 ①前回分	① 392,331	① 392,331	2018年12月～ 2021年10月
②今回変更分	② <u>20,200</u>	② -	<u>2022年2月～ 2022年4月</u>
iii 当社子会社 (Quantum FOMM Limited) への貸付金 (当社子会社における資金使途)	<u>175,000</u>	-	<u>2022年1月</u>
FOMMに対する権利料			

3. 今後の見通し

本件が2022年2月期の業績に与える影響は軽微です。開示すべき事項が生じた場合は、速やかに開示いたします。

以 上